

ACROLINK®

7N SPEAKER CABLE
Stressfree® 99.9999% Purity Copper

7N-S1040 Leggenda

いま、新しい伝説が始まる。

核心は継承、新生レッジェンダシリーズ始動。

唐突に、深遠な低域が襲ってくることがある。ああ、ここに在ったのか、と思う。
この時のためにどうしても必要な備えなのだ。
導体は0.37φ50本。信号の高解像ワイドレンジ化は低域側にも広がっている。



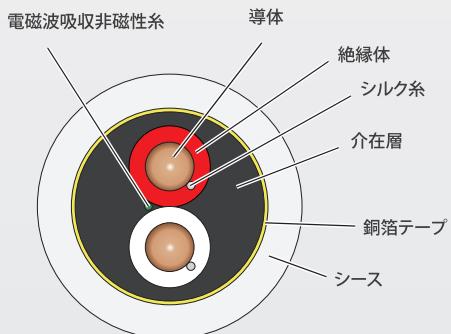
急速なハイレゾリューション化の潮流は高域サイドに衆目を惹き付けるが、実は低域側でのメリットはより大きい。茫洋な量ではなくクリーンな音程表現や演奏テクニックを見せつけるからだ。「歓喜の歌」の旋律は第九全体の中でコントラバスとチェロなどで最初に明快に奏されるのだが、しかしながらどうしてそうなのか?それまで無数の断片によって予感されて来た旋律が低音楽器に集約される。ベートーヴェンの本音は低音にあるのではないか。そんな考察さえ導いてくれる。良いケーブルに換えるとそれが格段と鮮明に音になるのです。ケーブル素材はすでに、その結晶方向までもが可視化され、極めて高度なフィールドへ。7Nという脅威の素材はエネルギー分散型X線分光(EDS)を装備した電界放出形走査電子顕微鏡(FE-SEM)によって、結晶方向の可視化に成功、純度や結晶粒の大きさなどでは説明しきれない音の違いを「方向性」という観点から解明、銅線の加工・熱処理プロセスを初期段階から再構築することで誕生しました。アクロリンクが今回リリースする新製品7N-S1040 LeggendaはS1040シリーズのデザインコンセプトを継承しながらさらに大きな進化を遂げています。ホット側、コールド側ともにアクロリンク独自のストレスフリー加工を施したD.U.C.C. 7N Cuによる0.37φ50本という瞬時の音の奔流をクリアする物量を投入、各々の燃り方向を各々右巻きと左巻きにして高密度に燃り上げ、これに静電除去効果を発揮するシルク糸を沿わせてからアクロリンク独自のポリオレフィンで芯線化し、線間を密着させることで根本的にノイズに強い構造として、その上、線間には電磁波吸収非磁性糸を配置、ノイズ除去効果をより一層高めてながら制振効果を強化するタンゲステンとアモルファス素材を練り込んだ高分子ポリオレフィンによる介在層で2本を一体化。これに「網」ではなく銅箔テープを巻いてシールド効果をより一層万全に整えて、パールホワイトいう美しい容姿に仕上げています。オーケストラでは弦楽器1本1本の動きが見えるような解像力、微小信号の緻密な表現力。奏者の技量が克明に再現されることで立ち上がる音楽の実像。ピアノ1+パーカッション1+ベース0.5感の強かった(?)ピアノトリオもいまはっきりと1×1×1として生き返ることでしょう。超高域まで伸びきったクリアな音像と深々と精神の根底に響く重低音。広大な周波数特性とダイナミックレンジが再現するオーケストラの楽器の明快な位置関係。その響き。集中感。類い稀なシールド効果によって音が汚されないと何が起きるか、といよいよまた始まる“発見”的伝説です。

7N-S1040 Leggenda 仕様

外径寸法 : 13.2φmm
導 体 : 7N D.U.C.C. Stressfree 0.37φ × 50本 × 2(赤・白)
絶 緣 体 : 高分子ポリオレフィン系樹脂
介 在 層 : 制振材入り高分子ポリオレフィン + タングステン粉体 + アモルファス粉体
シールド : 銅箔テープ
シース : 鉛フリーPVC
導体抵抗 : 2.8mΩ/m
静電容量 : 76pF/m

●希望小売価格 1巻/30m ¥15,840/m(税込)

構造



代表分析値の例 銅の純度測定は、材質の銅の含有率を直接測定するのではなく、銅の中に含まれる不純物を測定して、不純物の重量比率を100%から差し引いた値で示しています。グロー放電微量分析装置を使用して、数十種類に及ぶ不純物をすべて測定し、音質に与える影響が大きい不純物成分を下記のように表示しています。

Fe (鉄)	Ni (ニッケル)	Si (ケイ素)	Al (アルミニウム)	S (イオウ)	Ag (銀)	Na (ナトリウム)	K (カリウム)	U (ウランium)	Th (トリウム)	H (水素)	O (酸素)
0.03	0.003	0.04	0.005	0.05	0.04	0.004	0.005未満	0.0002未満	0.0003未満	0.03未満	1.0未満

Typical Analysis (Impurities)

ppm / GD-MS Gas Analysis